

情報通信研究機構

NICT 先端研究

⑦

情報通信研究機構で
「次世代音声対話シ
ステムWEKDA」研究
センター（DIR
EICT）では、日本語
のように人間が話す言
語の解析・分析を行う
人工知能（AI）技術

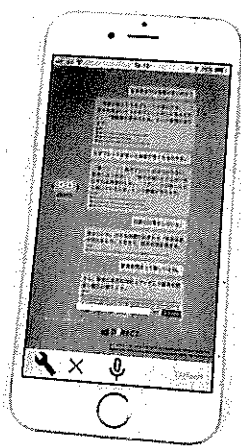
である「自然言語処 理」の研究開発を進め ている。これまで、災 害時にツイッター上の 災害関連情報を抽出し て、災害対応で活用す るためのシステムであ るDISANA、D SUMM、ウェブ40 億を元に質問に回答 DA（ウエクタ）の開

次世代音声対話シ
ステムWEKDA

ユーザーの知的視野拡大

ユニバーサルコミュニケーション研究所データ
駆動知能システム研究センターセンター長 **鳥澤 健太郎**

東京大学大学院理学系研究科博士課程中退。東京大学助手、北陸先端
科学技術大学院大学准教授を経て、現職。日本学術振興会賞等受賞。日
本学術会議連携会員。博士（理学）。



スマートフォン上のWEKDAのような「おし
EKDAとの対話

↑ いった応答を返す。

既存のAIスピーカ

ない。

「とは異なり、開発者
があらかじめ仕込んだ
セリフで応答するので
は、近年注目の深
層学習とWISDOM
Xを使い、ネット上
にある知識やエビデ
ンスを披露して、ユー
ザの知的視野を広げ
る。現在、例え
ば「自動運転が実現す
るらしいね」という音
声入力に対して「は
い、自動運転が実現す
れば、自動車はスマ
ートフォンのようなパ
ーシジョンが重要であ
る」と言われており、WE

は多くない。
WEKDAは、膨大
なネット上の情報を使
い、多様なトピックに
関して雑談するシステ
ムである。現在、例え
ば「自動運転が実現す
るらしいね」という音
声入力に対して「は
い、自動運転が実現す
れば、自動車はスマ
ートフォンのようなパ
ーシジョンが重要であ
る」と言われており、WE

また、子どもの興味
のおもむくまま、科学
に関するおしゃべりす
るロボットが普及すれ
ば、人材育成につな
がるかもしれない。筆
者の隠れた願望は、研
究に関するブレインス
トリーミングを、通勤中
の自動車内で対話システ
ムとすることである。

今後は、これらに限ら
ずさまざまな応用を自
指し、研究開発を進め
ていく。
(火曜日掲載)

科学技術・大学